

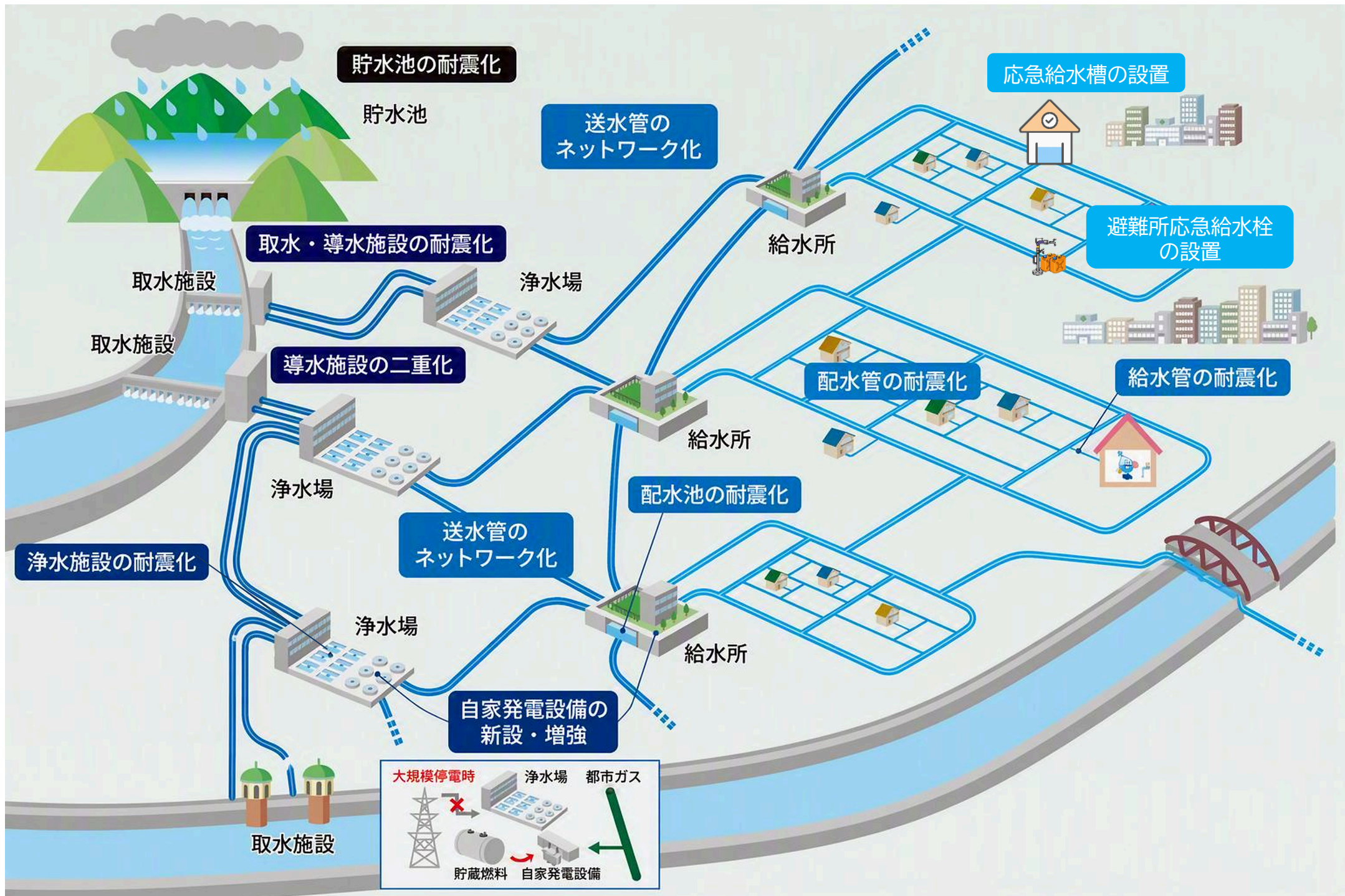


東京都水道局の災害対策

—首都東京が直面する脅威からライフラインを守る—



水源から蛇口まで様々な災害対策を行っています

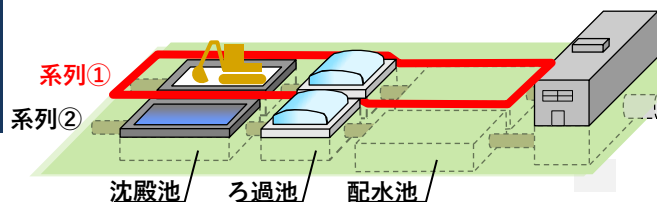


首都東京が直面する脅威からライフラインを守る

ハード面の取組 (予防対策)

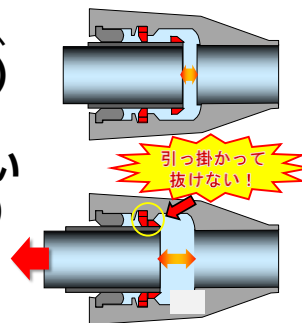
■ 浄水施設の耐震化

- 耐震化工事の際には大幅な能力低下を伴うため、**安定給水を確保した上で計画的に推進**
- 非常時における水を確保するため、ろ過池や配水池の耐震化は概ね完了**
- 現在は、**系列ごとに耐震化を推進**



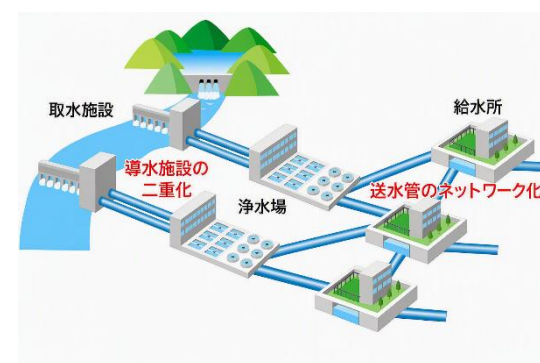
■ 配水管の耐震化

- 配水管は約28,000kmにも及ぶため、計画的に耐震継手化(抜け出しにくい管への取替え)を実施
- 令和6年度末の耐震継手率は**52%**であり、**重要施設(避難所等)への管路は概成**
- 現在は、**断水率が高い地域(取替優先地域)や地域配水の骨格管路の耐震継手化を重点的に実施**



■ バックアップ機能の強化

- 個々の施設が機能停止しても給水を確保できるよう、**導水施設の二重化**及び**送水管のネットワーク化**を進め、バックアップ機能を強化



ソフト面の取組 (応急対策)

■ 災害時給水ステーション

- 断水時には、貯留機能を持つ**都内213か所の給水拠点**で応急給水を実施
- 避難所敷地内の応急給水栓**や、あらかじめ指定した**消火栓**なども応急給水に活用



■ 断水時にも水供給体制を即時に確保

- 区市町や地域住民など多様な主体とも連携して、**実践的な訓練**を繰り返し、職員及び組織の**災害対応力を強化**



■ 他都市からの受援体制

- 日本水道協会による全国相互応援の枠組みや大都市間での覚書等により、**発災時の相互応援体制**を構築

